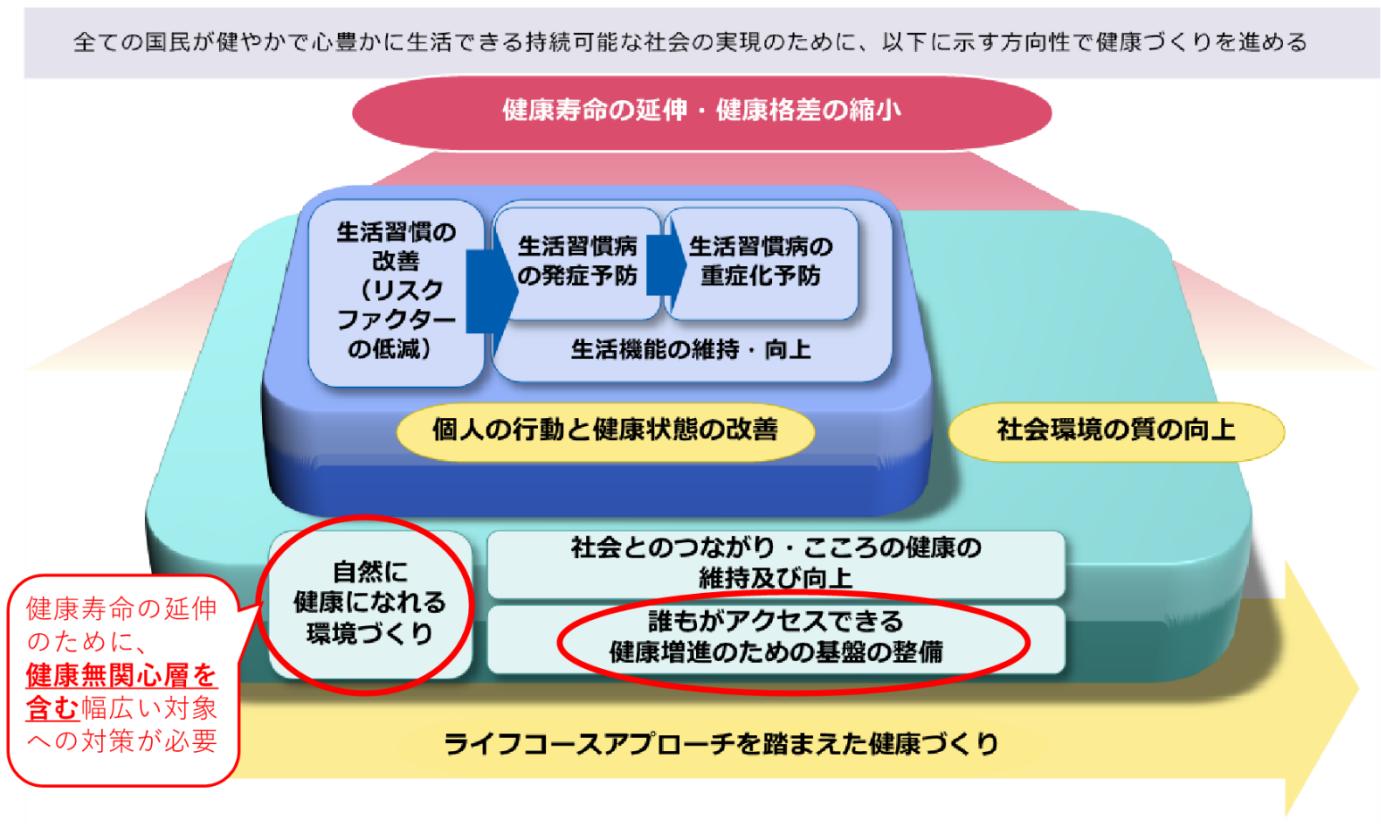
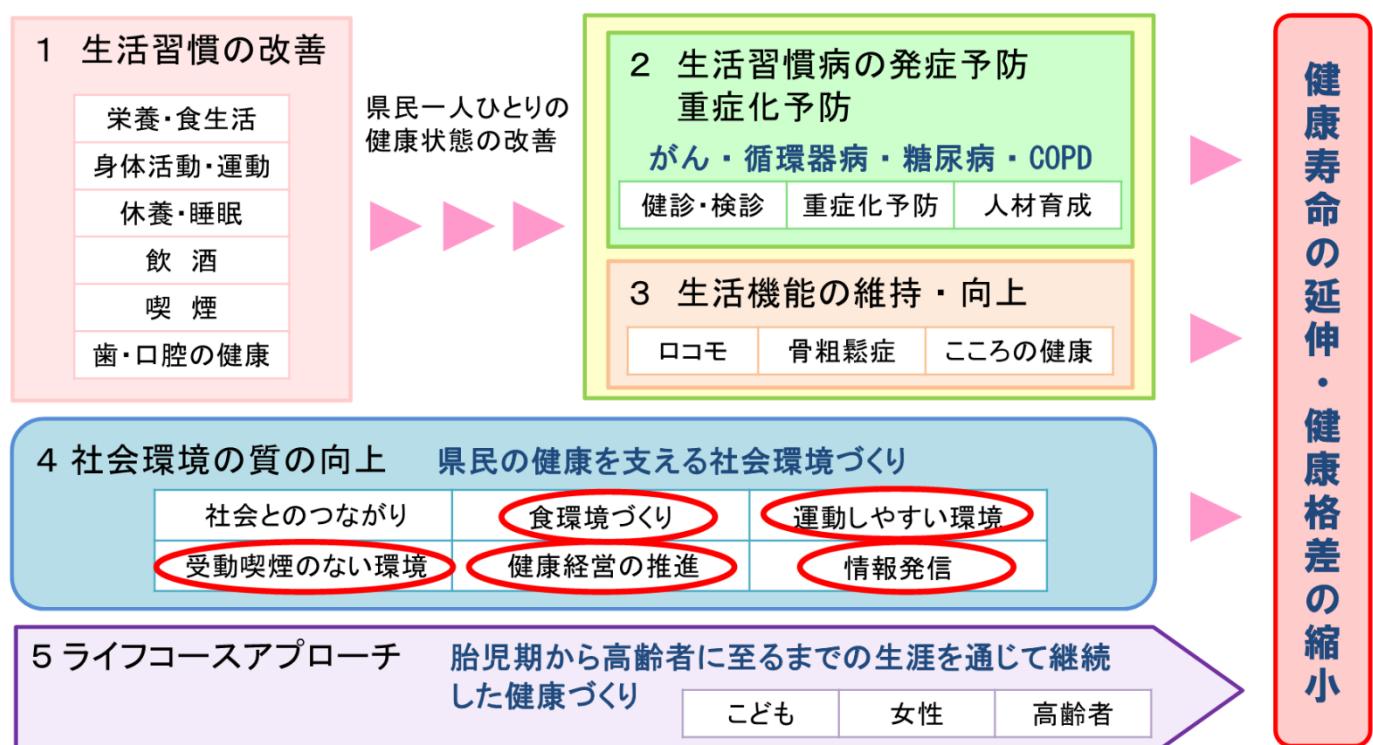


健康日本21（第三次）の概念図



健康みやざき行動計画21（第3次）概念図



(2) 自然に健康になれる環境づくり

応援しよう！野菜たっぷり適塩生活
防ぎます！家族や周りの受動喫煙
探そう！整えよう！身近に運動できる場所

健康寿命の延伸には、健康の関心の有無に関係なく、幅広い県民に対してアプローチを行うことが重要です。そのため、個人が無理なく自然に健康な行動を取ることができます。環境整備を行うことが求められています。

<現状・課題>

- 食生活では、ベジ活応援店の店舗を増やす取組や、コンビニエンスストアと連携した取組、SNS等を活用して若い世代がバランス良く食事を摂る工夫の普及啓発などを行っています。
- 身体活動・運動では、アプリ等を活用したウォーキングイベントの開催や、口コモティブシンドローム予防のための養成講座等により、県民の運動機会を増すための取組を進めています。
- 受動喫煙対策については、健康増進法改正（2020年4月全面施行）により屋内が原則禁煙になるなど対策が強化されたことについて周知を図るとともに、受動喫煙に対する普及啓発を行っていますが、継続して受動喫煙対策の取組が必要です。

<目標項目と策定時値及び目標値>

目標項目	策定時値	目標値
適塩の食環境づくりを支援する企業・事業所数	調査中 ²⁵⁾	策定時値の20%増加
宮崎県ベジ活応援店の店舗数	164 ²⁵⁾	250
県民参加型のウォーキング等を伴うイベント実施数（市町村・事業所等実施）	88 ²⁵⁾	110
口コモティブシンドローム予防養成講座の受講者数（令和3年度からの延べ人数）	77人 ²⁵⁾	550人
受動喫煙対策を行っている事業所の割合	93.6% ²⁶⁾	100%

<施策の方向>

● 食環境づくりの推進

国が示す自然に健康になれる持続可能な食環境づくりの推進に向けた検討会報告書等を参考に、健康課題に応じた食環境づくりを推進します。

● 運動しやすい環境づくりの推進

県民が手軽に運動（生活活動を含む）を取り入れるための環境づくりについて、先進的な取組を行う自治体の事例等を参考に、楽しみながら運動できるような取組を推進します。

● 受動喫煙のない環境づくりの推進

誰もが受動喫煙を受けることがないよう、多くの人が利用する施設における受動喫煙対策を推進するとともに、受動喫煙が健康に及ぼす影響について広く情報発信を行います。

(3) 誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

健康づくりは暮らしの身近なところから！
自分にあった方法で、健康づくりの情報をキャッチしよう！

健康づくりを行うにあたっては、保健・医療・福祉等へのアクセスが確保されていることに加えて、健康づくりを行う基盤整備が重要です。自治体のみならず企業や民間団体といった、多様な主体による健康づくりの取組を推進することが重要です。

＜現状・課題＞

- 健康経営優良法人^{*1}認定数（中小規模法人部門）は、増加傾向にあります。全国では中小規模法人部門で14,012法人²⁷⁾が認定されています。
- 健康経営の推進のため、健康経営をサポートする企業の支援や、企業等が主催する健康経営に関する研修等の後方支援等を行っています。
- 職場における労働者の健康課題は多様化しており、地域医療・保健との連携なども含め産業保健体制の整備や活動の推進が必要となっています。
- 宮崎県ベジ活応援店の店舗数は増加傾向にあり、ベジ活応援店の認知度向上・利用促進に向けたキャンペーン等を通じて、ベジ活等の情報発信を行っています。
- 食生活改善推進協議会と連携し、野菜たっぷりで適塩な野菜料理レシピや、主食・主菜・副菜が揃った食事の普及啓発を行っています。
- 宮崎県健康長寿サポートサイトや県公式・県健康増進課公式SNSにより、健康づくり等に関する情報発信を行っていますが、健康無関心層にも届くような情報発信への取組が必要です。

＜目標項目と策定時値及び目標値＞

目標項目	策定時値	目標値
県内でスマート・ライフ・プロジェクト ^{*2} へ参画し活動している企業・団体数	46 ²⁸⁾	90
健康経営優良法人認定数（中小規模法人部門）	85 ²⁷⁾	135
各事業所において必要な産業保健サービスを提供している事業場の割合の増加率	調査中 ²⁹⁾	20%
管理栄養士・栄養士を配置している施設の割合（病院、介護老人保健施設、介護医療院を除く）	71.0% ²⁵⁾	75%
（再）宮崎県ベジ活応援店の店舗数	164 ²⁵⁾	250

目標項目	策定時値	目標値
食生活改善推進員の活動量（対象延べ人数）	35,825 人 ³⁰⁾ (R2-4 平均)	80,000 人 (R14-16 平均)
宮崎県健康長寿サポートサイト 延べアクセス数	103,712 回 ²⁵⁾	100 万回 (R4 年度以降の累計)

＜施策の方向＞

● 健康経営の推進

より多くの事業所が健康経営に取り組むことで、個人の健康そして事業所全体、ひいては地域の健康状態が良好となることが期待されます。従業員の健康づくりに取り組む事業所の表彰制度や、健康経営をサポートする事業所の整備、地域・職域連携推進事業を通じた取組やスマート・ライフ・プロジェクトに関する普及啓発等を行うことで、健康経営の推進を図ります。

● 地域・職域連携推進事業等における健康づくり体制の強化

地域・職域連携推進事業等を活用し、小規模事業所も含めた職域における健康づくりの推進を図ります。

● 利用者に応じた食事を提供する給食施設の増加、宮崎県ベジ活応援店の普及

事業所の給食施設等への管理栄養士・栄養士の配置が進み、利用者の特性に応じて栄養管理された給食が提供されることは、バランスのとれた食事の摂取につながります。利用者に応じた食事を提供する給食施設の増加を推進するとともに、健康増進法の特定給食施設指導等により、給食施設の栄養管理の充実を図ります。また、宮崎県ベジ活応援店の店舗数を増やし、県民に対して利用促進を呼びかけることで、県民の野菜摂取量の増加につなげます。

● 食生活改善推進協議会の活動の推進

食生活改善推進員の育成や資質向上を支援するとともに、会員一人ひとりの積極的な活動を推進します。

● 健康づくり等に関する情報の発信

宮崎県健康長寿サポートサイトや県公式・県健康増進課公式 SNS 等を通じて、最新情報等を発信することで、県民が健康づくりに関する情報を収集しやすい環境を整備します。情報発信の際は、県民誰もがアクセスしたくなるような魅力ある内容や、健康無関心層にも情報が届く方法等を考慮して行います。

※ 1 健康経営優良法人：経済産業省が行う健康経営に関する顕彰制度で、大規模法人部門と中小規模法人部門がある。

※ 2 スマート・ライフ・プロジェクト：厚生労働省が行っている、国民の健康づくりをサポートするプロジェクト。食事・運動・けんしん・禁煙の4つを柱として推進している。